



第10回 おがるっこ

(東北大学病院NICUで大きくなったこどもたちと親の会)



令和5年12月10日、コロナ禍を経て4年ぶりに「第10回おがるっこ（東北大学病院NICUで大きくなったこどもたちと親の会）」が開催されました。当日は14組のNICUの卒業生とご家族にお集まりいただき、その他に東北大学学生ボランティア、仙台市の保健師、NICUスタッフ（医師、看護師、保育士、公認心理師）が参加いたしました。



(集合写真)





新生児科医師からの開会のあいさつ後、それぞれのご家族から自己紹介をしていただきました。お子さまのお名前、今興味があることなどをお話していただきました。4年ぶりの会開催もあり、私たちスタッフも、たくましく成長したお子さまの様子や、笑顔でお子さまのことをお話されるご家族の様子を見て、とても感慨深い気持ちになりました。



また、自分で自己紹介ができるお子様は自分で自己紹介をしていただきました。成長したお子さまの様子をお子さまのご家族だけでなく、参加されたご家族、スタッフ一同で我が子のように感じることができ、とても温かい空気に包まれていました。

次に、今回は12月ということでサンタクロースとトナカイが登場し、一緒に手遊びとふれあい遊びを行いました。手遊びでは『とんとんとんひげじいさん』の替え歌『とんとんとんアンパンマン』のお歌を歌いながら楽しく手遊びをしました。また『はなれないふたり』のお歌に合わせて、お子さまとお母さん、お父さんでタッチしたり、ぎゅーっと抱きしめたりとふれあい遊びを行い、会場が和やかな雰囲気になりました。





わくわくイベントは『スノードームづくり』を行いました。好きなシールや飾りを選んでオリジナルのスノードームを作成しました。年齢の大きなお子さんは、自分で好きなものを選んで作成し、小さなお子さんは、お母さんとお父さんと一緒に作成しました。個性豊かな、とても可愛らしいスノードームができました。お兄さんお姉さんは作るスピードも早く、バリエーションを変えて2個作るなど、みなさんすてきな笑顔で取り組んでいました。完成したスノードームはしゃかしゃか音が鳴り遊ぶこともでき、楽しく遊ぶ姿も印象的でした。



わくわくイベントの後には、テーブルごとにご家族同士の情報交換を行いました。前半後半でグループを入れ替え制とし、前半のグループは、同じ年代のお子さまのご家族が集まりました。同じ年代のお子さまを持つご家族は、お子さまの成長を互いに喜びあい、日頃の不安や悩みを打ち明けていました。後半のグループは、事前にいただいた参加目的等で構成し年齢の異なるお子さまが集まりました。先輩家族から、離乳食や集団保育についての体験談を聞いたり、悩みを共有したりする姿がありました。おがるっこに参加している成長したお子さまの様子を直接見ることで、我が子が今後どのように成長していくのか見通しを持つことができたり、就学に関して具体的にイメージを持つことができたとおっしゃるご家族もいらっしゃいました。また、コロナ禍前の開催で好評だったパパのみで語り合うパパグループの場ももたせていただき、子育てについてパパ同士でとても熱く語り合う姿がみられました。毎年参加していただいたご家族の参加もあり、コロナ禍の4年間の様子やその間の子どもたちの成長等を私たちスタッフも感じることができました。





情報交換で出たご意見や会に参加してみてのご感想

●離乳食について

『吐くことが多いために大変苦労しました。今も食べることに関しては大きな課題ですが、こども病院で色々な方に関わってもらいながら頑張っています。』

『全部手作りに固執せず、既製品を使いながら時間にも余裕をもたせています。』

●集団教育について

『園での方針が違うところが多いのでいろいろ見学して決めた。同じ境遇の子どもたちが多いところもあり、園長先生に相談してよかったと思えた。』

『支援学級にするか学校にするか親の意向が大きく影響するので悩んだが、出来ることがゆっくりでも一つずつ増えていっており、何を選んでも間違いじゃないと今は思える。』

●その他

『夜の様子が分からず最初はとまどった（泣きすぎて具合悪くならないかなど）。モニターは波形がみだれてる時はちゃんと測れていないことを知らなかったのでSPO2が下がって不安だった。後に知識を得て気持ちが楽になりました』

『親も悩みながら日々選択してすすんでいる、悩みを共有、経験談を知れてこれでいいんだと見守っていこうと思えました』

●参加してみての感想

『対面での開催がとてもよかったです。ありがとうございました。』

『入院が一緒だった母子に会えてよかった。』

『おがるこの存在は、何年たっても心の支えになっています。とてもありがたいです。小学生になっても弱視の訓練や、側弯症のリハビリ、発達支援外来等々、色々なことがあり、実際に対面でお話できたのは、とてもよかったです。もし、今後対面での開催が難しくなったときは、オンライン開催も考えていただければありがたいです。』





第10回おがるっこは久しぶりの開催となりましたが、参加して下さった笑顔・元気いっぱいのお子さまたちと、あたたかいご家族のみなさまのご協力により、とても楽しく有意義な会にすることができました。また参加したいとの声をいただき、とてもうれしく思います。NICU入院当時のご家族のお気持ちや退院後の生活について直接うかがえることができ、わたしたちスタッフにとってもとても貴重な機会でした。そして、何よりも卒業したお子さまたちやご家族と笑顔でお会いできるということは、とてもうれしいこと・喜びであると改めて感じることができました。寒い中、おがるっこにご参加いただき、本当にありがとうございました。来年度以降も7月と12月頃におがるっこを開催する予定です。卒業したお子さまやそのご家族にまた笑顔でお会いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

令和5年12月31日

東北大学病院西6階病棟おがるっこ事務局

